(一)　昭和30年11月30日　第1666号　(水曜日)　常磐毎日新聞　(昭和30年1月22日第三種郵便物認可)　夕刊　(日曜、祭日、休刊)

常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番

縣下一の経営優良農家

(活)(生)(文化)

平の塩さん一家

農改指導所で表彰具申

時代の流れで文化的になつたとはいえ、農家といえばまだほこりだらけの座敷に敷放しの寝床、そして厩舎から臭気ただよう土間で漬物とミソ汁だけで麦飯をかき込む感が深く、農村の娘できえ嫁に行くのを嫌がるというが、これは食生活、環境衛生を始め農耕、家庭経済などすべて計画に基き研究改善して合理化された文化的経営をしている農家が、大豊作の喜びを托した脱穀の響に明け暮れる平市にあり、石城農業改良指導所では県下一の経営優良農家だとして、このほど県に推薦、表彰方を具申した。

屋外を大掃除する。特に家屋内は柱、さん、厩舎の戸などまで雑きんを掛け、宮殿のように磨がかつているまた排水路、堆肥置なども週に一回畑に運んで整理する。このため夏中、ハエに悩まされることは少ないという。

食生活　＝農家の多くは漬物とミソ汁に麦の沢山入つた御飯を厩からただよう臭気をかみながら食べているが、食生活は健康のもととして食事する室を設け一日一回は魚、肉食する。

健康　＝働く者の唯一の財産として健康は特に留意し、そのために夜は十時に寝て午前六時起床、月に一回健康診断、三月に一回レントゲン撮影などをしている。

家族の和と生活の向上　＝親は畑仕事をのぞいては生活のことすべてを娘夫婦にまかせ口出しをしない、このため夕食後一時間くらい反省会を開き、一日の出来事を検討し反省する、また月に二回、家から出た家族も集り家族会議を開く、また生活の向上を図るため研究会などの集りには老夫婦をのこして皆んな出席する。

塩さんの話　私達は楽しく生活するために苦労しているのです、よく働き、よく食べ、よく寝て仲よく暮しているのが私達のとりえです。

（写真上は、模範台所、下左は清潔な井戸、右は茶の間）

西に新川、南に市街を遮断する市内北白土字土堤下の林に囲まれた閑静の瓦ぶきの家が優良経営農家平市会議員塩濱咲さん(五五)宅である、塩さんの家には父専治(六〇)母ユウ(六八)、妻テル(五三)、長男修一(三二)嫁キミ子(三七)の三夫婦と娘武子(三〇)三男満(一九)と孫三人の十一人家族で田一町、畑六反と僅かな山林を経営している中農だが合理化された営農、更に家族個人の意見を尊重した和と協力で家屋内の清掃整理、行きとどいた環境衛生完全な食生活による健康など都会の中流家庭を思わせるモデル文化農家――以下文化農家をのぞいて見よう。

農業経営　田一町と畑六反を耕作しているが田四反と、畑四反はいずれも菜作を主とし、さらに高度の輪作による立体的経営、特にビニールによるトマト、キユウリなど速成栽培で現金収入の増加を図つている。また農事は日稼、一日の仕事も時間割で朝の七時から午後五時（夏は六時）まで行い。早晩や夜おそくはなるたけ仕事をしないことにしている。

住居の改善　＝台所、風呂、井戸、庭などは利用しよいように合理化しあらゆる場所に整理棚を設け物の置場所を決める。使つたものは定めた場所に返しておく、改善された台所は嫁や娘の希望で自家水道も採り入れたもので、嫁さんは歌を口ずさみながら仕事するという明るいものである。

環境衛生　＝一週間に二回（三日に一回）家族全員で屋内外を大掃除する。特に家屋内

陸上は十五日から

第八回縣体会場決る

五市持廻り制になつている県体は来年八月五千三百名が参加して平市を中心に石城地区五市で開かれることになつているが、県体の受入れ態勢を整えるため石城体育協会（会長鈴木喜政）は十二月七日午後一時から平市公民館に各種目体育関係者と五市関係者を集めて打合せ会を開き、会場の決定、百五十万円負担金の割当などについて協議する、また同協会は名大会場を次の通り内定した（カツコ内は参加予定選手）

▽陸上、平市営（競輪）競技場（九四〇名）▽蹴球、勿来市植田町（二五〇名）▽ホツケー、常磐市（六〇名）▽排球、四倉町（七六〇名）▽剣道、磐城市小名浜町（二七〇名）▽相撲、内郷市（八〇名）▽体操、平市商業、工業高体育館（一八〇名）▽硬庭、平市営テニスコート（七〇名）▽ボクシング、常磐市（八〇名）▽籠球、平市内学校講堂（六〇〇名）▽射撃、平市営射撃場（二一〇名）▽重量挙、平市公会堂（五〇名）▽ラクビー、平市営グラウンド（二七〇名）▽ハンドボール、平市（二一〇名）▽歌庭、平市営テニスコート（三五〇名）▽卓球平市（三五〇名）▽自転車、平市営競輪場（三〇名）▽軟式野球、常磐市浅貝、好間村古河好間炭砿市営球場（一六〇名）▽フエツシング、常磐市（二〇名）▽バトミントン、平市（一四〇名）▽ソフトボール、磐城市小名浜町（二六〇名）▽月道平市営球道場（二二〇名）▽柔道、平市（二二〇名）このほか登山、ボート、水泳、馬術などがあるが、これは各会場とにらみ合せて決める。

水素の交渉妥結

二十九日午後二時から全国ストに突入する予定だつた日本水素労組では会社側の申入れに対し二十四時間ストを延期、同午後三時から団交を開いた結果、会社側から提案された最後回答一率二万、基準賃金一、二カ月分、家族一人当り一千五百円、コツパース炉祝金一率二千四百円計三万八千二百八十四円を承認すると同時にストは一応延期した。

北米移民に金子氏合格

第三回北米ユチア独身農業移民に遠野町沢山田字釜ノ前入農業金子義雄さん(三七)が合格したと二十九日市営射撃場で朝の七時から午後五時（夏は六時）まで行い。早晩や夜おそくはなるたけ仕事をしないことにしている。

住居の改善　＝台所、風呂、井戸、庭などは利用しよいように合理化しあらゆる場所に整理棚を設け物の置場所を決める。使つたものは定めた場所に返しておく、改善された台所は嫁や娘の希望で自家水道も採り入れたもので、嫁さんは歌を口ずさみながら仕事するという明るいものである。

環境衛生　＝一週間に二回（三日に一回）家族全員で屋内外を大掃除する。特に家屋内は柱、さん、厩舎の戸などまで雑きんを掛け、宮殿のように磨がかつているまた排水路、堆肥置なども週に一回畑に運んで整理する。このため夏中、ハエに悩まされることは少ないという。

食生活　＝農家の多くは漬物とミソ汁に麦の沢山入つた御飯を厩からただよう臭気をかみながら食べているが、食生活は健康のもととして食事する室を設け一日一回は魚、肉食する。

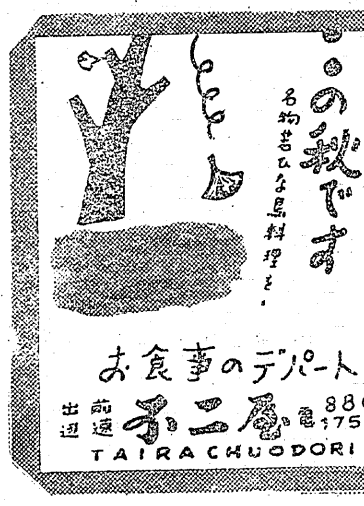
健康　＝働く者の唯一の財産として健康は特に留意し、そのために夜は十時に寝て午前六時起床、月に一回健康診断、三月に一回レントゲン撮影などをしている。

家族の和と生活の向上　＝親は畑仕事をのぞいては生活のことすべてを娘夫婦にまかせ口出しをしない、このため夕食後一時間くらい反省会を開き、一日の出来事を検討し反省する、また月に二回、家から出た家族も集り家族会議を開く、また生活の向上を図るため研究会などの集りには老夫婦をのこして皆んな出席する。

塩さんの話　私達は楽しく生活するために苦労しているのです、よく働き、よく食べ、よく寝て仲よく暮しているのが私達のとりえです。

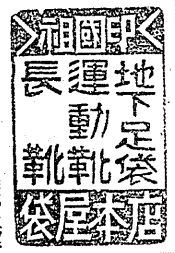
（写真上は、模範台所、下左は清潔な井戸、右は茶の間）

改築御披露
永らく皆様に御不自由をおかけ致しました。二十九日改築完成致しましたので何卒従前通り御利用の程お願い申上げます
松の月
四倉町新町　電三六番



女中さん急募
◇年令十九才より二十五才位迄住込も可
◎委細面談
みしな詩画
平市田町　電九一五

天気予報
（今晩）北よりの風曇一時小雨時々晴
（明日）西又は北西の風晴のち曇一時しぐれ
（海上）今晩おだやか明日は多少風波がある



終戦10周年　大黒屋全連鎖店　クリスマス・セール

歳末総感謝総反省総奉仕大売出し

・感謝・大黒屋は此処に終戦10年の12月を迎えさせて戴きました

（1）省りみますに　当大黒屋を御引立　御後援　御指導下さいました　皆様御得意様になんと感謝し　なんと御礼申上げてよいかわかりません　只感激あるのみで御座います

（2）いたらざる奉仕　いたらざる努力　此の終戦10年12月に際し心より反省させていただきます
私し共大黒屋は　皆様御得意様に　なにをせねばならないか？
皆様御得意様は　私し共大黒屋に　なにを求められているか？
を深く深く考えさせていただきます

（3）そして良い点は　更に実行を強化して延ばし悪い点はどしどし改善致させていただきます

（4）しかして大黒屋　は
本当に皆様御得意様のお陰げで今日ある事を確認させていただきまして　感謝精進させていただきます

（5）この12月　は社長以下全従業員が一がんとなりまして総感謝・総反省・総奉仕の努力を発表させて戴く覚悟であります
いたらざる所はどしどし御しかりを下さいまして　更に一段の御支援御鞭韃の程ふしてお願い申上げます

社長　馬目勝次郎　　以下従業員一同

われらの郷土石城大郡

吉田庄太郎

人生己れを知る程の大事業はないのである。この己れを知らずして、大衆は物を知り、金を知つて、否、囚はれて、それ権勢それ富貴と、唯物史観点界に斗争私利の夢を見てるではないか権勢富貴何にものぞ、これしやしてあり、ゼイタクたるを知らねばならない。この夢の世の中に魂はありよう筈はない。三ツ子の魂百までゞあり、一寸の虫にも五分の魂であり、石の上にも三年とは、これ魂の感慨でなくて何であろうぞ、あゝ魂なる哉、魂なるかな、一に魂、二に、三にも魂で、魂なき権勢、魂なき富貴、何の価値やあり得る。これ天とは魂であり、地とはは魂くたる所以で、大宇宙とは魂はく界即原子界と言つても過言ではあるまい。

茲に、われらの郷土市町村たる大石城郡の実存を知らねばならない。山あり、川あり、海ある大石城郡ではないか、五大都市である石城郡は双葉郡とか、田村郡とか、石川郡とか、多賀郡とかと同視してよいものか、否、全国一の石城郡ではないか、大石城郡ではないか、県下人口の約二十%を占めんとする大勢ではないか、県下一の観光郡であり、県下一の小県郡であつて、本県のみとり図であり、本県の縮図郡たるを知らねばならない。山とは二つや、水石、湯の缶の連峯であり、川とは、夏井渓谷であり、鮫川なるを知らねばならない。更に北に小川江、南に鮫川江の伝統を知らねばならない。只飲み川とは何ぞや、この機械文明の世の中に只飲知事とか、只飲み川とかは何の為体ぞ、三百年五十年の小川江、鮫川江は何を最も雄弁に物語る事か、赤字は何を最も雄弁に物語る事か、赤字は何を敢ふる政治行政なりや、経済学の無能の告白ではないか

日本人よ、真理には無理はない無だもない。油断もあつてはならい台風恐るに足らぬ、恐る可きは、金であり、物であり、心なき三大詩である。大衆は、未だに、茲に、気が付かぬではないか、これ郷土とは、魂の郷土であり、金や物の郷土ではない。わが石城郡の大郷土たる所以で、全面観光郷土ならぬはない。但し、この全面的観光石城郷土なるものは、立法的のものではなく、正義人道的われらの郷土大石城郡の自覚を失つてはならない。今や、世界の大勢は人道の争覇戦たる話し合いに到達し

何に々々会談とか、会議とかの内外和同大小あるを見逃してはならぬ、内治外交の一切は正義人道に立脚しての勝負たる一点に帰着する所に最終戦性の伏在実存性がある。日本人よ付けである。（三〇年一〇月一三日を記念して七軒町にて）

火防週間の話題

逸早く消防署に急報
大事を未然に防いだ

宮小六年生、熊田君の沈着

隣家の火災を発見した一少年がトツサの機転で近くの郵便局にかけ込み消防署に火事を知らせたと云う沈着な行為が明るみにでており市と学校でも同生徒に対する表彰方を考えている。

去る二十三日午前七時十分ごろ内郷市宮町蛭子の小高健助さん方炊事場から出火したのを近所の宮小学校六年生熊田基春君（一三）が発見、最初はビツクリしてどうしてよいか判らなかつたがとつさに電話で消防署に連絡すれば良いと思つて宮郵便局に飛び込み、火事ですからすぐ来せて下さいと窓口に頼み、自分はそのまま引き返して消火につとめたと云うもの、同君のおちついた行為で間もなく消防車が走つて来て小火程度で消しとめることが出来たが、民家の密集した部落でもあり熊田君に対する賞賛の声は大きい。

バスガイドコンクール
十八日平市で

観光バスのウグイス嬢自慢のノドを競う県観光協会連盟と県内バス会社共催の県内バスガイド案内競技会は十二月十八日午前十時から平市公会堂に県内バス会社全部が参加して開く、この競技はバスガイドの案内技術向上と県内観光地宣伝のため県内の常磐交通、会津乗合、県南交通、福島電鉄の四バス会社の観光バスガイド約二十名が参加して行われるもの。

石城ネギを改良
更に増産を推進

蔬菜類を栽培させて農家の現金収入を増そうと石城経済駐在署と平市神谷県立園芸原種農場で石城地方の土壌にかなつた農作物を選定していたが、この程県内外消費地に移出して好評を受けている石城ネギが最もかなつていることが判り、さらに改良を加えて名産石城ネギとして栽培を奨励するため改良の原種生産を行うことになつた最近平市農務課で調べたところによると石城地方で最も恵まれた平地方の農家でも現金収入は全国平均を一割近くも下廻る十三万円で、やつと生活している状態にあることが判り、これでは農家の生活は行詰るばかりだと蔬菜でも最劃の好い石城ネギの栽培奨励に乗り出したもの、この石城ネギは現在平市を中心に好間、夏井、赤井、勿来、磐城などで百七十三町五反歩を耕作、年間二十万貫（反当平均千貫）を生産、約五万貫を東京、福島、茨城方面に移出、約五十万円の現金収入を上げている。更にこの石城ネギを改良して五年間は現在の三倍に増産しようというもので、すでに白味を多くするために改良した原種一反歩（三十町歩分）約三斗を栽培している。

磐城の県営住宅入居者

磐城福祉事務所は、市内滝尻字神力地内の県営住宅入居者次の通り

▽日本水素関係長沢宏、渡辺高志、植村力夫、渡辺三男、前田清助、斎藤正見、中村静雄、金子光他　吉田直（湯本駅員）山崎百登（国道事務所）

七カ所を急襲
ドブ狩り一名を検挙

密造酒狩りに乗りだした平税務署は廿九日も内郷市金坂町伊成順三ら七カ所を酒税法違反容疑で急襲、伊と平窪宅（ヨ）方から焼酎四升四合と一斗缶など器具二点を押収すると共に両名を検挙した。また同市白水町山田二郎、倉田五郎の両名宅は手入れをキヤツチ窓や戸に鍵をかけ外出してしまつたため手入れが出来ず引揚げた。

内郷でピツポ物語公演

内郷市少年愛護連盟では来る十一日午前十時と午後二時の二回、市浅野記念館で、斎中商原作のピツポ物語を朗読する、これは同連盟が暮に近づくにつれて続発する少年犯罪未然防止運動の一つとして

少年ドロ二件

去る二十八日内郷署に二人の少年ドロが捕まつた。◇内郷市綴町A少年（一七）は十月初めから綴町の看護婦戸田ノブさん（三四）方他一軒から四回に亘つて現金、米、カバンなど三千五百円相当を盗んだ疑い◇同市内町前田B少年（一七）は去る四月ごろから今まで白水町長槻学校教員大越一二三さん（三二）方他十一軒の空巣を働き現金六千円や衣類数点を盗んだ疑い。

磐城の防犯習字入賞表

磐城警察署は市内小、中学校生徒から応募した防犯習字図画などの入賞者二十七名をこのほど表彰した。受賞者次の通り

◇習字の部、池田志津子、田口悦子、渡辺洋子、初瀬守一、草野昌子、阿部洋、村上順一、大島直美、宍戸理知子、斎藤孝子西丸峻、

◇図画の部、大島直美、大和田礼子、宗川マサ、貫田幸子、小峯タカ、坂部淳子、佐川平良、作山弘子、作山隆一、米沢忠、山宮明子、国分誠子、杉下直澄

磐城便り

磐城市区長会は十二月一日午前十時から市役所会議室で開き市名変更について協議する。

▼磐城市泉町は農協、泉公民館の共催で十二月一日から三日まで泉小学校で農作物展示会と、バザーなどを開く

▼二十九日磐城市小名浜一小で行われた全日本学生児童発明展県予選で渡辺貴子（小名一小六年）の「安全からさお」小林嘉勝片石洋一、合作（江名中三年）の「改良魚焼装置」など百六十八点中協会支部長賞に大賞した

▽〝ゆもと〟の財産区会議員選挙は既報のような結果で激しい舌戦に終止符をうつたが……開票のかげにかくれたものを二つ、三つあげてみよう。

▽同姓で立候補した鮫岡益二朗氏と鮫岡正次氏は六票あつた「くじらおか」を仲良く三票ずつ分け合つた、「ニク」と書いたのが一票あつたがこれは鮫岡正次氏が一票「肉屋」であるため有効票と認められた、この票のために同氏は危く当選のヒモにぶらさがることが出来た……と云うのはもし「ニク」がなかつたら〇・二三で次点を争つていたかも判らない……。

今晩のラジオ

NHK（第一）

6、00　シンブン
6、25　オテナの塔
7、30　即興劇場
8、00　放送演芸会
9、15　希望音楽会
9、45　ラジオ喫煙室
10、15　物語

ラジオ福島

6、05　私のヒツトソング
6、40　鞍馬天狗
7、15　人情馬鹿物語
7、30　ユーモア千一夜
8、00　素人物まね コンクール
8、40　浪曲落語
9、00　明色トニシヨー
9、30　角家演芸会
10、05　名作アルバム
10、25　夜の希望音楽会
11、05　浪曲名調アルバム

今晩の（映画）

……世界館……
6、56　見合い旅行
8、50　ジヤンケン娘
6日マデ・電58

……民劇……
6、55　白熊
8、53　我れ暁に死す
30日マデ・電1322

……東映劇場……
6、44　まぼろし怪盗団
8、50　驀駆飛脚
6日マデ・電65

……ひかり座……
7、02　暗黒街脱出
8、46　アラモの砦
5日マデ　電1338

……聚楽館……
6、25　アウシユウイツの女囚
8、55　筋金を入れろ
5日マデ・電470

……平館……
6、30　浮草日記
8、30　太陽は日々に新たなり
6日マデ・電466

ラジオ古山

パンは開花亭

寿しのみしま　仲田町　電915

味自慢
▽寿司　和洋食
▽割烹　特選
▽小料理　中華そば
仕出し承ります
一速亟前出—
茶加や
平市才磐小路電395

本紙愛読者優待
30日—6日まで
ジヤンケン娘
同時上映　見合い旅行
本券切抜いて御持参の方に限り大人三〇円学生二〇円を特別割引いたします
世界館

ひばり★チエミ★いづみの初顔合せ総天然色でおくる百万ドルプレゼント!!

看護婦家政婦の御用命は……電三〇七番へ
労働大臣認可　平看護婦家政婦斡旋所
個派出多忙会員募集

暁の対決
兇暴モロ族の反抗に決然奮起した時の司政官
ケイリイ・クーパー主演
1日—5日　民劇

Cecil B. DeMille's Masterpiece
Samson and Delilah
パラマウント總天然色
豪華けんらん世界を驚嘆させた
史上最大の超大作
ビクター・マチユア
ヘデイ・ラマー
サムソンとデリラ

看板はネオン平岳社　TEL 1300

便所の汲取りは清掃界のナンバーワン
電話六七四番　白栄社へ
必ず一度御試しのほど

厚生医療指定病院
財団法人　竹林病院
本院　平市十五丁目十三番地　電話六〇八・八一一番
分病棟　平市小太郎町十三番地　電話一二七四番

草手袋　突きが訪れました
GLOVES
エンダカバン
平駅前・電499